

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2015-214538(P2015-214538A)

【公開日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-075

【出願番号】特願2015-84970(P2015-84970)

【国際特許分類】

C 07 D 241/36 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

C 07 D 241/36 C S P

H 05 B 33/14 B

H 05 B 33/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月9日(2018.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

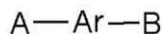
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(G0)で表される複素環化合物。

【化1】



(G0)

(式(G0)中、Aは、ジベンゾ[f,h]キノキサリニル基を表し、Bは、置換もしくは無置換のフルオレニル基を表し、Arは、置換もしくは無置換の炭素数6~25のアリーレン基を表す。)

【請求項2】

請求項1において、

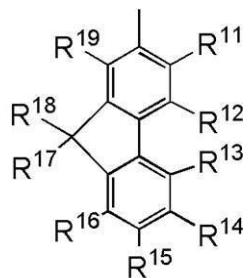
前記式(G0)中のBは、置換もしくは無置換の2-フルオレニル基である複素環化合物。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、

前記式(G0)中のBは、下記式()で表される複素環化合物。

【化 2】



(α)

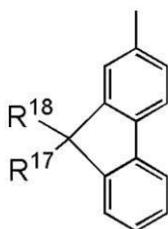
(式()中、R^{1~1} ~ R^{1~9}は、それぞれ独立に、水素、炭素数1~6のアルキル基、炭素数6~12のアリール基を表す。)

【請求項4】

請求項 1 乃至 請求項 3 のいずれか一において、

前記式（G0）中のBは、下記式（）で表される複素環化合物。

【化 3】



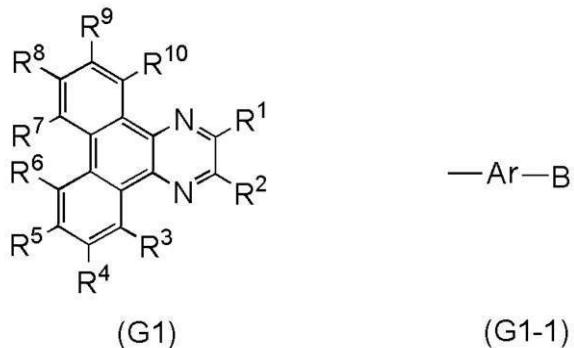
(B)

(式()中、の R^{1-7} および R^{1-8} は、それぞれ独立に、水素、炭素数 1 ~ 6 のアルキル基、炭素数 6 ~ 12 のアリール基を表す。)

【請求項5】

式（G1）で表される複素環化合物。

【化4】



(式(G1)中、 $R^1 \sim R^{10}$ のいずれか一は、式(G1-1)で表され、その他はそれぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基を表す。式(G1-1)中のBは、置換

もしくは無置換のフルオレニル基を表し、式(G1-1)中のArは、置換もしくは無置換の炭素数6～25のアリール基を表す。)

【請求項6】

請求項5において、

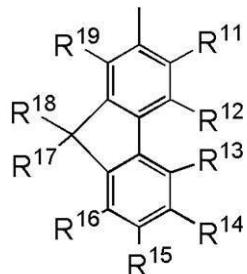
前記式(G1-1)中のBは、置換もしくは無置換の2-フルオレニル基である複素環化合物。

【請求項7】

請求項5または請求項6において、

前記式(G1-1)中のBは、下記式()で表される複素環化合物。

【化5】



(α)

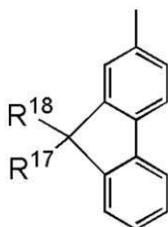
(式()中、R¹⁻¹～R¹⁻⁹は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、炭素数6～12のアリール基を表す。)

【請求項8】

請求項5乃至請求項7のいずれか一において、

前記式(G1-1)中のBは、下記式()で表される複素環化合物。

【化6】



(β)

(式()中、のR¹⁻⁷およびR¹⁻⁸は、それぞれ独立に、水素、炭素数1～6のアルキル基、炭素数6～12のアリール基を表す。)

【請求項9】

請求項1乃至請求項8のいずれか一に記載の複素環化合物を有する発光素子。

【請求項10】

請求項9に記載の発光素子と、

トランジスタ、または、基板と、

を有する発光装置。

【請求項11】

請求項10に記載の発光装置と、

マイク、カメラ、操作用ボタン、外部接続部、または、スピーカと、
を有する電子機器。

【請求項 1 2】

請求項1 0に記載の発光装置と、
筐体、カバー、または、支持台を有する照明装置。